

令和8年度 福祉従事者研修

対面研修	ICFに基づく福祉機器の活用研修 NEW
目的	福祉機器を活用して職員の負担軽減とケアの質向上を図るための研修。「抱え上げない介護」の実現に向け、機器導入による環境調整やケア内容の見直しを学び、ICF（国際生活機能分類）の視点を活用した支援方法を理解します。腰痛予防など職員の健康に配慮した実践的な活用方法を身につけます。
効果	ICFの視点に基づき福祉機器を適切に活用することで、利用者の生活機能向上と自立支援の質が高まります。あわせて「抱え上げない介護」の実践により職員の身体的負担や腰痛リスクを軽減し、安全で持続可能なケア体制の構築につながります。

日時	令和 8年9月 15日(火) 10時00分～16時00分
会場	佐賀県社会福祉会館「Fukku/ふっく」（佐賀市天神1丁目4-15）
受講対象 ・定員	新任職員から管理職員まで全階層の職員 60名程度
受講料	佐賀県社協会員：8,000円（非会員：13,000円）税込
申込締切	令和 8年8月31日(月) 午後12時00分 ※定員に達した場合は早期に申込みを締切場合があります。 ※研修実施可能人数(20名)を満たさない場合は開催を見送る場合があります。

プログラム	時間	研修内容
	9:30～	受付
	9:55～10:00	オリエンテーション
	10:00～12:00	●ICF(国際生活機能分類)の視点を踏まえた、福祉機器を活用した利用者の生活機能向上と自律支援についての講義 1. ICF(国際生活機能分類)の視点の重要性について 2. 事例から見る福祉機器の活用と環境整備による障害者(児)や高齢者等の生活機能向上について 3. 抱え上げない介護(ノーリフティングケア)で移乗後の車椅子と生活について 4. 介護から自立支援と自律支援への移行について
	12:00～13:00 (昼食・休憩)	
	13:00～16:00	●展示機器や展示図書の見学 ●展示室に展示した福祉用具などを活用したリハ専門職による抱え上げない介護のデモンストレーション実技研修 ●展示室に展示した福祉用具などを活用した参加者の福祉機器実技研修

※研修にはグループ討議・演習等があり、より効果的に学ぶことができます。
 ※研修内容は一部変更される場合があります。

講師 松尾 清美(まつお きよみ)氏 こうしゅくゼロ推進協議会 代表理事 合同会社 KT福祉環境研究所 代表社員 元佐賀大学医学部准教授	20代で交通事故で下半身麻痺になるも、自立した生活を送りたいという願望もあり、福祉用具の開発や5000人以上の障害児・者へのサポート、医師や看護師、リハ職、介護職への福祉用具・住環境の教育に携わられている。
--	--

